

令和4年9月30日

## ▼タイトル

令和4年度後期企画展「中江藤樹と脩身堂—学びの系譜—」を開催します。

## ▼概要

近江国高島郡小川村（現在の高島市安曇川町上小川）に生まれ、「日本陽明学の祖」と呼ばれる近江聖人・中江藤樹（1608－1648）は、郷里の学びに大きな影響を与えました。

中でも高島郡大溝（現在の高島市勝野）を城下とする大溝藩は、正保3年（1646）藤樹と第二代藩主分部嘉治との接見を皮切りに、藤樹没後には歴代藩主が藤樹書院の保護に努めるなど、藤樹への敬慕を示しました。また、藤樹の三男・常省に学んだ藩士の存在や、全国各地から藤樹書院を訪れる著名な学者や文人との交流は、大溝藩の教学に多くの影響を与えました。

本展は、藤樹が大溝藩主より下賜されたと伝わる分部家紋入りの直垂をはじめ、藤樹書院を訪れた著名な儒学者・伊藤東涯の書跡のほか、今回初公開となる大溝藩校『脩身堂』文芸奉行（教授）を務めた儒臣・中村徳勝らを輩出した中村家に伝わる書物など、藤樹が大溝藩に与えた影響やかかわり、『脩身堂』開校にいたるまでの経緯を知ろうと貴重な資料を紹介します。

▼展示日 令和4年10月7日（金）～令和5年3月31日（金）  
休館日は毎週月曜日（祝日および振替休日を除く）・祝日および振替休日  
翌日（土曜日または日曜日を除く）・12月29日から1月3日まで

▼場 所 近江聖人中江藤樹記念館 第1展示室

▼展示例 「直垂」伝中江藤樹遺服、「七言絶句」伊藤東涯筆 他

▼対 象 全来館者

## ▼問い合わせ先

- 所 属：近江聖人中江藤樹記念館
- 担 当：会計年度任用職員 早川 貴子
- 電話 番号：（0740）32-0330
- ファックス：（0740）32-0330

近江聖人中江藤樹記念館 令和4年度後期企画展

# 中江藤樹と脩身堂

## —学びの系譜—

会期 令和4年 10月7日(金)～令和5年 3月31日(金)

〒520-1224 滋賀県高島市安曇川町上小川69番地 TEL (0740)32-0330

【入館料】高校生以上300円(20名以上200円)／小・中学生無料

【開館時間】9時～16時30分【休館日】月曜日(祝日を除く)・祝日の翌日(土・日曜日を除く)



直垂 伝中江藤樹遺服 (藤樹書院蔵)

近江国高島郡小川村(現在の高島市安曇川町上小川)に生まれ、「日本陽明学の祖」と呼ばれる近江聖人・中江藤樹(1608-1648)は、郷里の学びに大きな感化を与えました。

中でも高島郡大溝(現在の高島市勝野)を城下とする大溝藩は、正保3年(1646)藤樹と第二代藩主分部嘉治との接見を皮切りに、藤樹没後には歴代藩主が藤樹書院の保護に努めるなど、藤樹への敬慕を示しました。また、藤樹の三男・常省に学んだ藩士の存在や、全国各地から藤樹書院を訪れる著名な学者や文人との交流により、大溝藩校『脩身堂』における教学に多くの影響を与えました。

本展は、藤樹が大溝藩主より下賜されたと伝わる分部家紋入りの直垂をはじめ、藤樹書院を訪れた著名な儒学者・伊藤東涯の書跡のほか、今回初公開となる『脩身堂』文芸奉行(教授)を務めた儒臣・中村徳勝らを輩出した中村家に伝わる典籍など、藤樹が大溝藩に与えた影響やかかわり、『脩身堂』開校にいたるまでの経緯など、高島の郷学の歴史を知るうえで貴重な資料を紹介します。



大溝藩校扁額『脩身堂』八代藩主分部光実書  
(高島歴史民俗資料館蔵)